

# 阪神北広域こども急病センター ニュースレター

## 防ごう！夏に多い子どもの事故

厳しい日射しや暑さを感じる日が多くなり、いよいよ夏本番です。待ちに待った夏休み。子どもたちは海や山に出かけ、自然と触れあい、様々な体験を通して一段とたくましく成長してくれることでしょう。そんな気持ちが高まる一方で、心配されるのが子どもの事故です。そこで、夏に起こりやすい子どもの事故について、予防と対処法をご紹介します。

### 水の事故 (プール・海・川)

\*警察庁の「平成26年中における水難事故の概況」によると、中学生以下の子どもに多い水難事故は「河川」での事故が半数以上を占め、次いで「海」となっています。

#### ➡ 溺れたら？ どうする？

##### ① 大声で助けを呼びましょう。

1人で助けようと海や川に飛び込むのは危険です。できるだけ人を集め、浮き輪やペットボトルなど浮くものを投げたり、長い棒などつかめるものを差し出したりしてできるだけ大勢で救助を試みましょう。

##### ② 水から引き上げることができたら…

意識があるか？ 息はしているか？を確認してください。

意識があって、大声で泣いていれば一安心。バスタオルなどで身体を保温し、念のため病院を受診しましょう。意識もなく、息もしていなければすぐに救急車を呼び、心肺蘇生を開始してください。

##### ③ 心肺蘇生

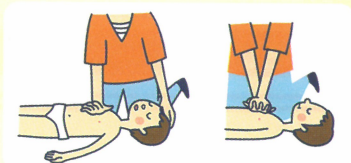
まず胸骨圧迫(心臓マッサージ)を開始してください。その後気道を確保し、人工呼吸を開始します。胸骨圧迫(心臓マッサージ)30回につき人工呼吸2回の割合で、泣き出すか救急隊と交代するまで繰り返し続けましょう。



#### 気道確保



#### 胸骨圧迫(心臓マッサージ)



子どもでは胸の厚みの1/3を目安として、十分に胸が沈み込む程度に胸の真ん中、胸骨の下半分をしっかりと圧迫して下さい。



乳児の場合には、図のように指2本を使って胸を圧迫して下さい。押す場所は大人と同じ胸の真ん中です。

#### 人工呼吸



自分の口に含んで息を吹き込んで下さい。

乳児(1歳未満)に人工呼吸をする場合は、図のように赤ちゃんの口と鼻をまとめて

#### ➡ 事故にあわないために

- ◆ 子どもはわずか数cmの深さでも溺れます。ビニールプールや浅瀬だからと油断せず、水の近くでは子どもから絶対に目を離さないようにしましょう。
- ◆ こまめに休憩を取り、体調が悪いときには水に入らないようにしましょう。
- ◆ 浮き輪や大きめのペットボトルなどを準備しておく、万が一溺れたときに役に立ちます。
- ◆ 必要に応じてライフジャケットを着用しましょう。



## 車中に注意!

子どもを車内に置いて行かないで!



夏の車内の温度は短時間でいきなりに上昇します。「寝ているから」「少しの時間だから」「窓を開けているから」などの理由で子どもを置いていくと、体温調節が未発達な乳幼児は短時間で脱水状態になり、重度の熱中症から死に至ることも少なくありません。たとえ短時間でも子どもを車内に置いて行かないでください。また長時間のドライブなどではこまめな水分補給を心がけ、車内熱中症を予防しましょう。

## 虫刺され

### 刺されたらどうする?

#### 蚊

市販の虫刺され用塗り薬を使ってもかまいません。腫れがひどくなったり掻きむしって傷になった場合は、皮膚科か小児科を受診して薬を処方してもらいましょう。冷やすと痒みがおさまります。



#### マダニ

無理に引っ張って取ろうとするとマダニの口が皮膚に残ってしまい、化膿したりマダニの体液が体内に逆流する可能性があります。必ず医療機関(皮膚科)を受診して取ってもらいましょう。また咬まれてから数週間は体調の変化に注意し、発熱等の症状が現れたら医療機関を受診してください。



#### 蜂

その場を離れ、安全な場所に避難してください。

蜂の針が残っている場合はそっと抜き取り、流水で傷口から蜂毒を搾り出すように洗い流します。蕁麻疹や気分不良があるときは、蜂刺されによる強いアレルギー反応の可能性がありますので救急車を呼んでください。20分~30分くらい様子を見て全身症状がなく、刺された部位の痛みだけなら慌てる必要はありません。冷やしながらか抗ヒスタミン剤かステロイドを含む軟膏があれば塗布します。(アンモニアは効果がありません) 通常、腫れや痛みは数時間から1日で軽減します。



### 刺されないために

- ◆ 野外で活動するときは、できるだけ肌の露出を控え、長袖、長ズボンを着用しましょう。
- ◆ 虫除けスプレーで予防しましょう。(成分によっては6ヶ月未満の乳児には使用できませんので、添付文書をよく読んで正しく使用しましょう。)
- ◆ 水溜りをなくし、蚊の発生を予防しましょう。



## 電話相談をご利用ください

◆ 阪神北広域こども急病センターでは、看護師による電話相談を行っています。

☎ 電話相談 ☎

072-770-9981



### ☎ 相談受付時間 ☎

平日	午後8:00 ~ 翌朝6:30
土曜日	午後3:00 ~ 翌朝6:30
日・祝日・年末年始 (12/29-1/3)	午前9:00 ~ 翌朝6:30

こどもの急病でお困りのときは、お気軽にご相談ください。

## 診療のご案内

診療科目	小児科 (15歳未満、中学生まで) ※原則、内科の診療となります	
診療受付時間	平日	午後7:30 ~ 翌朝6:30 診察開始は午後8時から
	土曜日	午後2:30 ~ 翌朝6:30 診察開始は午後3時から
	日・祝日・年末年始 (12/29-1/3)	午前8:30 ~ 翌朝6:30 診察開始は午前9時から

### 道路地図



阪神北広域こども急病センター

〒664-0015 伊丹市昆陽池2丁目10番地  
<http://www.hanshink-kodomoqq.jp/>

TEL: 072-770-9988

FAX: 072-770-9905